

1 世界の主要な宗教

5-3 宗教の歴史

5-3-1 モーセの宗教。

神の言葉から始まった宗教

-モーセの神体験

創造主なる神はモーセに「ここに近づくな」と言われた 出エジプト 3.3 モーセは神と語り、神の指示に従い、神のしもべとしての体験をした。

これがモーセ（ムーサ）を始祖とするイスラエル民族の宗教である。モーセは神の国創造の先駆者として任命された。神は、神の国に入る住民として訓練したイスラエル人を連れて行き、カナンの地に神の国を地上に摂理的に樹立した。しかし、イスラエル人の神への信仰は悪魔の誘惑によって破壊された。

エジプトを出たイスラエルの民は40年間砂漠をさまよい、砂漠で生まれた子供たちは神への信仰を育んでいった、

彼らはモーセの五書を神の言葉として受け入れ、カナンの地に入った。

しかし、指導者モーセは目標であったカナンの地（楽園）に入ることができず、ネボ山で死んだ。

カナンの地で信者の数は増え、400年後には国家を形成するのに必要なレベルに達した。

紀元前11世紀からは、神に選ばれたダビデ（ダオウダ）が王となり、その息子ソロモン（スレイマン）が王位を継承した。この国は神の言葉を伝える預言者によって統治された。彼らの治世はイスラエル王国として知られている。

しかし、紀元前11世紀から10世紀まで、イスラエル王国はわずか120年しか続かなかった。

5-3-2 仏教

個人の救済を説く。

-ブッダの神体験

創造主である神が創造した真理の探究と解明は神の仕事であり、創造主と直接対話した形跡はない。

紀元前7世紀頃、インド16大王国の時代、ヒンドゥー教が広まり、階級社会となった。ブッダは部族の王子として生まれ、29歳で妻子を捨てて出家し、35歳で悟りを開いた。そして仏教という宗教を創始した。ブッダは苦悩とその原因について説き、正しい道を歩み、心の迷いを捨て、悟りを開くことで、どんな身分の人でも救われることを説いた。

釈迦は天寿を全うし、80歳で亡くなった。仏教はインドから中国へ、そして極東、南アジアへと広がっていった。

5-3-3 儒教

国を治める方法を教える。

-孔子は祖先崇拜の道を開いた思想家であり、創造主との関係よりも祖先が残した社会的遺伝子を重視した。

革新的な学問が次々と生まれた中国の春秋戦国時代、孔子（紀元前551～479年）を始祖とする儒教は紀元前6世紀に誕生した。

孔子は、人生とは「徳」の積み重ねであると説いた。

「仁」は最高の徳であり、他者への思いやりと気遣いとされる。

孔子は「仁」のあるところに道徳は自然に保たれ、社会は安定すると説いた。

儒教は中国大陸だけでなく、東アジア、特に朝鮮半島や日本にも広まり、封建制を支える政治的イデオロギーとなり、祖先崇拜の宗教的教義となった。

5-3-4 ユダヤ教

ユダヤ教の目的は、失われたイスラエル王国の建設であった。

紀元前5世紀、ペルシャ帝国下のユダヤで、ラビのエズラとネヘミヤによってモーセの律法が編纂され、ユダヤ教が確立された。

ユダヤ教は神を愛し、人を愛する宗教としてユダヤ人の間に広まった。

「心を尽くし、思いを尽くし、魂を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい」（士師記6:5）。

隣人を自分のように愛しなさい」（レビ記19:18b）。

ユダヤ人の理想を実現するためにメシアがユダヤにやって来るという信仰が生まれた。

5-3-5 イエスの宗教

神の国を創るために宣教した。イエスと弟子たちは「ナザレ人」と呼ばれた（使徒2:22、24:5）。

-イエスの神体験

創造主である神を父と呼び、父と子の関係を経験した。父がなさることはすべて、子もなさるのである。父は御子を愛しておられ、御子のなさることをすべてお見せになるからです（ヨハネ5:19-20）。

イエスはユダヤ人の信仰に基づいて、律法を成就する新しい教え（御国の福音）を宣べ伝えられた（マタイ4:23）。

欲情して女を見る者は、すでに心の中で姦淫を犯している」（マタイ5:28）。イエスは「心の割礼」を勧められた（ローマ2:29）。

最初に集まったのは、肉において割礼を受けたユダヤ人たちだった。

イエスの言説は、ユダヤ人の価値観（モーセの律法を守る）とは異なっていた。カファルナウムの会堂で語ったとき、弟子たちの多くがその教えにつまずいた。

生ける父が私を用い、父のゆえに私が生きるように、私から食べる者は私のゆえに生きる」（ヨハネ 6:57）。

新しく生まれなければ、だれも神の国を見ることはできない。

（ヨハネ 3:3）。

主よ、主よ」と言う者がみな天国に入れるのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者だけが天国に入れるのです（マタイ 7:21）。

弟子たちはつまずき、これらの教えから離れてしまった（ヨハネ 6:66）。そしてイエスは十字架上で処刑された。

- イエスが十字架で死なれた後、弟子たちは悲惨な死を遂げた。ペテロ（シモン）はネロ皇帝の迫害下で逆さ十字架につけられた。アンデレウスはギリシャのアカイア地方でX字型の十字架に処刑された。大ヤコブ（ゼベダイの子）は、ユダヤ人の王ヘロデ・アグリッパ1世によって剣で殺された。小ヤコブ（アルファイオスの子）はオストラキナイで十字架につけられた。フィリポはひっくり返された十字架の上で石打ちの刑に処された。彼らは宣教のために行った外国でローマ法によって殺された。

5-3-6 パウロの宗教（キリスト教）。

-パウロの神体験

彼と創造主なる神との関係は、イスラエルの民のように神の子であり、創造主の子である。私たちが神の子であることを、御靈ご自身が私たちの靈を通して証ししてください ローマ 8:16 彼が主イエス・キリストと呼ぶ復活のイエスとの強い感情的関係を持っている。

彼の目標は、個人的な救いと死後の楽園に入ることである。

タルソの） サウロは敬虔なユダヤ人で、裕福な家庭に生まれ、ユダヤ人でありながらローマ市民権を持っていました。彼はイエスに従う者たちをユダヤ教の異端者として迫害した。しかし、ダマスコに近づいたとき、復活したイエスがサウロに話しかけられた。起きて町に入りなさい。そうすれば、自分が何をすべきかがわかるだろう」。（使徒 9：3）。

改宗後、サウロはパウロと名を変えた。私を愛し、私のためにご自身を捨てられた神の御子（イエス）を信じる信仰によって生きています」（ガラテヤ 2:21）。

（ガラテヤ 2:21）と宣言し、「私の福音」と「神の恵みの福音」を異邦人に宣べ伝えた。

彼の教えは「信仰による義認」を唱え、イエスの福音とは異なる福音を広めた。パウロの信者はクリスチヤンと呼ばれる。（使徒 11：26）。

しかし、パウロも十字架で殺された。パウロの福音はキリスト教の教えとしてローマ帝国に伝わった。

それが聖アウグスティヌスによって改良され、ヨーロッパに広まった。16世紀にヨーロッパで宗教改革が行われて以来、キリスト教は世界中に広まった。

5-3-7 イスラーム

-ムハンマドの神体験

ムハンマドは天使ガブリエルを通して創造主なる神の言葉を受け取った。彼は自分が神の僕であることを自覚し、創造主なる神を慈悲の神として体験した。

西暦 610 年、40 歳のムハンマドは天使ガブリエルから神の啓示を受け、神の預言者としてサウジアラビアのメッカにあるカーバ神殿の偶像を破壊し、偶像崇拜を放棄し、この建物をイスラム教の唯一神アッラーの象徴である神聖な神殿とした。

62 歳で病死。7世紀半ばから 13世紀半ばにかけて、イスラム教徒（サラセン人）は西アジア、北アフリカ、南ヨーロッパの広大な

地域を支配した（サラセン帝国）。その結果、イスラム教は仏教やキリスト教と並ぶ一大宗教として世界中に広まった。

宗教の歴史は、創造主なる神が宗教を通じて人類の歴史に大きな影響を与えたことを示している。特に、創造主と宗教の創始者との関係は、その宗教集団の人間関係にまで及び、彼らの日常生活に影響を与えている。

人類社会は科学の発展とともに飛躍的な進歩を遂げたが、宗教の世界は停滞状態にある。何百年も前の宗教理論はまだ使われているかもしれないが、もはや現代社会には通用しない。

かれは人々の導き手として、律法と福音を前もって下された。そして、識別力を下された（3.3-4）。

あなたの主が来られ、天使たちが、位階ごとに（89.21-23）。

聖書には次のような下りもある。

あなたがたに告げなければならないことは、まだたくさんあるが、今は運ぶことができない。13 真理の靈である慰め主が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださるからである。（ヨハネ 16:12）。

世の終わりには、神が新しい教えを与えると言われている。